

香落溪は赤目四十八滝と共に国定公園に位置し高低差200mを超える溪の両側には柱状節理の岩崖がそそり立ち四季を通じ風光明媚な一大景勝地です。

香落溪の名勝名は主に江戸時代藤堂家老兼田梁洲が、この地を探索し名付けた地名が受け継がれています。また、奈良東大寺二月堂のお水取りに使用する松明調進を始めた八幡(道親)長者伝説の地です。

県道81号線名張～曾爾線が大正8年に開通して、香落溪の景観の素晴らしさから、日本百景に選定されて世に知られるようになりました。

●【香落溪】の読み方●

「こおちだに」または「かおちだに」

# 日本百景 名勝 香落溪の 絶景を歩く



## ベストシーズン

- 春** (Spring) 4月中旬～5月上旬  
冬を越した木々や草花の芽生えと山桜で五色に染まり、色鮮やかな新緑となる
- 夏** (Summer) 6月上旬～10月中旬  
葉の揺れる音や川のせせらぎ、吹き抜ける風の涼しさを楽しみながら避暑散策
- 秋** (Autumn) 11月中旬～11月下旬  
全山錦の紅葉となり日々色彩が変化する様は、まさに一期一会
- 冬** (Winter) 12月下旬～2月中旬  
吹雪後の青空や白銀の景色が見物 自然の厳しさと優しさを教えてくれる
- 滝** (Waterfall) 全シーズン  
大雨の時に岩山を漂う雲や霧とともに大滝がある

**凡例**

岩崖		撮影ポイント		バス停	
全山紅葉		トイレ		歩行距離	

ゴミは持ち帰りましょう  
 名張市の名勝 香落溪を身近にする会  
 平成24年(2012年)

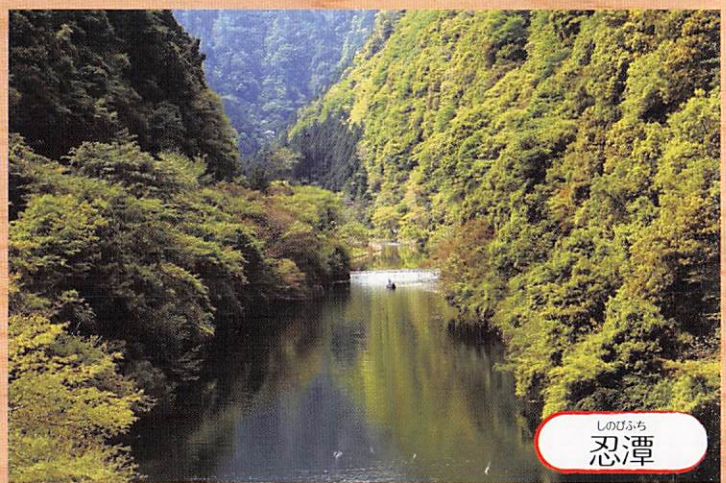


# 香落溪 5大絶景ポイント

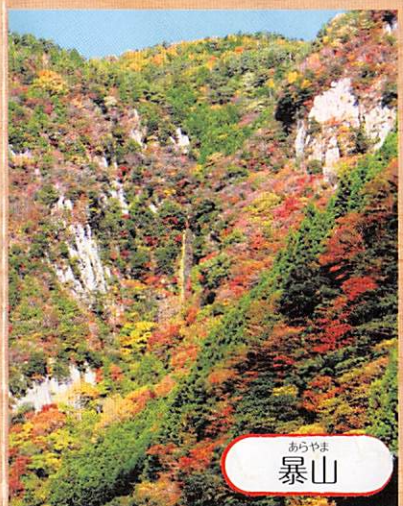
香落溪はスケールの大きさと四季変化する多彩な表情が面白く、美しい奇岩や崖山、その下を流れる川の淵、瀬、岩盤の川底など変化に富んだ流れ、断崖にへばりつく木々の新緑と花々、五色の紅葉ときらきら舞い散る様、そして雪を纏った断崖・奇岩の景色、水面に映るこれらの四季を通した渓谷美はまさにトップクラスの日本百景にふさわしい。

刻一刻と移り変わる景色の中で、是非に楽しんでいただきたい【5大絶景ポイント】を厳選致しました。ご参考にお楽しみください。香落溪を身近にする会

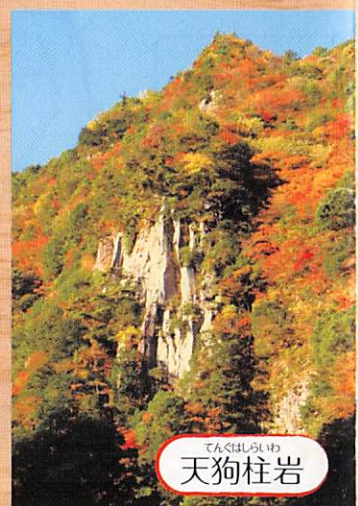
山々が四季変化  
美しい奇岩や崖山  
木々や花の多彩な表情  
見下ろす川が時間のごとく変化に富んだ流れ  
そして、  
水面に映る天と山の見事な渓谷美  
いざ、向上の一路、香落溪へ



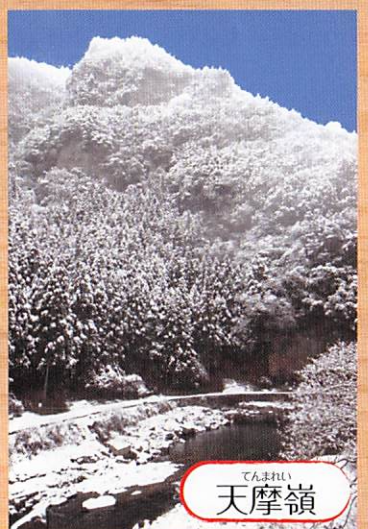
しのびふち  
**忍潭**



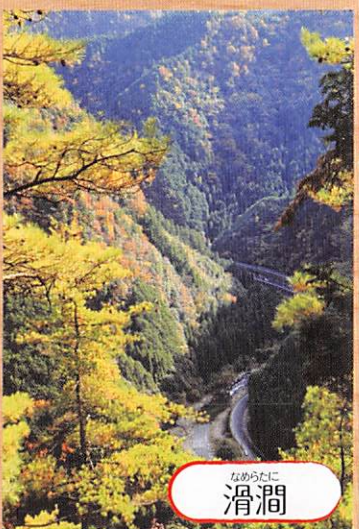
おらやま  
**暴山**



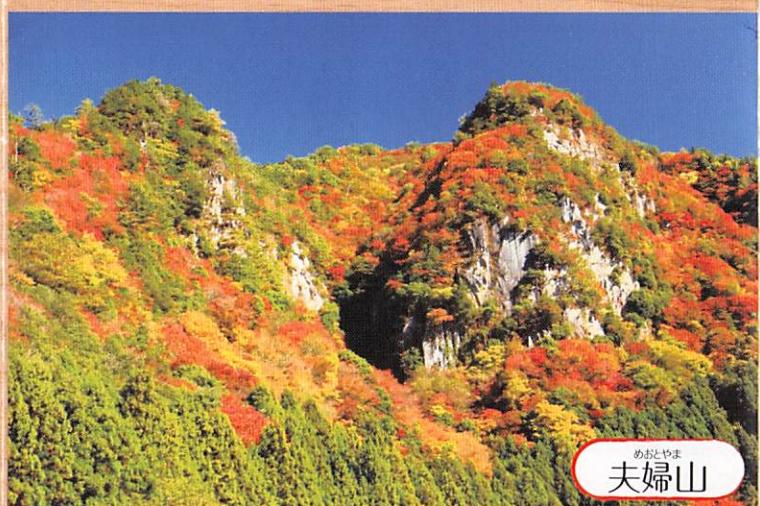
てんこうしらいわ  
**天狗柱岩**



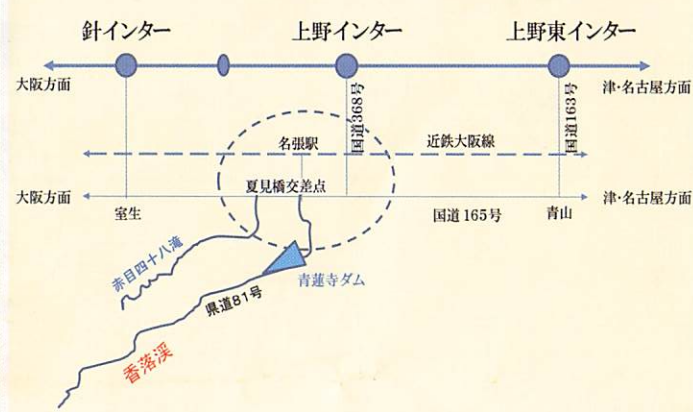
てんまのり  
**天摩嶺**



なめらたに  
**滑潤**



めおとやま  
**夫婦山**



問い合わせ先  
名張市役所 観光交流室  
TEL 0595-63-7648  
〒518-0492 三重県名張市鴻之台1番町1番地  
kankou@city.nabari.mie.jp

**ゴミは持ち帰りましょう**

名張市の名勝 香落溪を身近にする会  
平成24年(2012年)

協賛：(財)ダム水源地環境整備センター  
※この事業は、平成24年度ダム水源地域サポート事業の支援を受けて実施しております。